神戸市立自然の家

小・中学生、家族向け夏キャンプ

夏本番に向け、神戸市立自然の家では小・中学生やファミリー向けのキャンプ企画を用意している。

「森林浴キャンプ」は家族やグループ向けで、ＢＢＱやキャンプファイヤー、虫取り、工作など盛りだくさん。８月６～７日▽13～14日▽15～16日▽20～21日の計４回。キャビン施設Ａ棟９千円（定員８人）、Ｂ棟８千円（同６人）。７月３日からホームページで受け付けを開始し、定員（12組）になり次第締め切る。

「低学年夏キャンプ」は小学１～３年生が対象。初めて出会う仲間とともに、１泊２日のお泊まりにチャレンジする。開催日は９月10～11日。参加費１万1000円。定員40人。７月10～24日に受け付ける。

座禅や精進料理が体験できる「三日坊主キャンプ」

「三日坊主キャンプ」は摩耶山天上寺でお坊さん体験ができる企画。小１～中３生が対象で、定員25人（多数の場合は抽選）。参加費１万円。９月18～19日開催で、受付期間は７月20日～８月５日。自然の家☎078・891・0001

グランドホテル六甲スカイヴィラ

10周年記念、多彩な特別プラン

神戸の市街地から１時間足らずで行ける〝天空の楽園〟として親しまれる「グランドホテル六甲スカイヴィラ」。今春で10周年を迎えたことを記念し、さまざまな特別プランで迎えてくれる。

５月に10周年を迎えた「グランドホテル六甲スカイヴィラ」

料理はスタンダードコースから、黒毛和牛をメインにしたメニューにグレードアップ。神戸の海の青と六甲山の緑をイメージし、「神戸ウオーターレモネード」を使った10周年スペシャルカクテル（900円）も提供している。

また、ホテルから徒歩５分ほどに位置する、安藤忠雄さん設計の「風の教会」は、結婚式やイベント、撮影会場など貸しホールとしての利用も可能。先月20日に同教会で開かれたコントラバス奏者・幣隆太朗さんのコンサートは、神戸新聞ネクスト「秘密のコンサート」で見られる。

同ホテル☎078・891・0140

THIRD PLACE ROKKO

六甲山大学10周年、バイオリン演奏会

六甲山の多彩な催しを情報発信する「六甲山大学」の10周年を記念して８月６日、神戸市灘区の「THIRD PLACE ROKKO」でキャンプ飯を味わい、バイオリン演奏を鑑賞するイベントを開く。

野外ソロコンサートには「高嶋ちさ子12人のヴァイオリニスト」のメンバー小谷泉さん＝写真＝が出演。食事は角煮やベーコンなどを串に刺して炭火であぶる「ワイルドなキャンプ飯」を楽しむ。

午後１時、同５時の２回。定員は各回20人。参加者特典として抽選で「六甲ミーツ・アート芸術散歩2022」の鑑賞パスポートを各回10人にプレゼント。参加費５千円。☎078・891・0529（平日午前11時～午後４時、水曜休み）

申し込みはＱＲコードから

六甲大学 ROKKO-SAN DAIGAKU

六甲山にまつわる自然、環境、文学、食などの多彩な催しを大学のカリキュラムに見立てて情報発信する「六甲山大学」。山の旬の情報を通して、六甲山の魅力に迫ります。　（毎月第４火曜日に掲載します）

根岸真理が案内　山の四季便り

不思議な「ねんきん」のある生活

ミクロな生物を森でじっくり

昨年7月、日記に「憧れの〝ねんきん生活〟始めました」と書いた。

年金は、払込期間は満了しているものの、支給年齢にはまだ達していない。始めたのは、謎めいた生き物「粘菌」の探索だ。

あるときはアメーバ状で動き回り、時が来れば子実体を作って胞子を飛ばす。名前に〝菌〟とつくが、菌類ではない。「風の谷のナウシカ」に登場する異形の生物兵器を想起する人もいるかも…。

なんだか正体がよくわからない、不気味で不思議な生き物。粘菌の観察会があると聞き、参加してみたのである。

摩耶山を舞台に、自然観察や森の手入れを通して、自然を守り育てる活動に取り組んでいる「摩耶の森クラブ」の定例会。

講師は、粘菌に魅せられ、粘菌グッズを販売する「マメホコリ工房」を主宰する片岡祥三さんと、粘菌博士と呼びたいほどの知識をお持ちの2人の息子さん。はじめに、片岡家で飼っている（？）粘菌を見せていただき、粘菌についての簡単なレクチャーを受けた。そしていよいよ、周辺で粘菌を探します。

こんなところにいるのか？といぶかりつつ、参加者の皆さんと共にルーペを片手にうろうろ。

「ありました！　これ、粘菌ですよね？」「それは…カビですね」という残念なやりとりもありつつ、皆さんは次々と粘菌を発見。

前年度から参加している人は、さすがに見つけるのがうまい。山菜採りの達人が「山菜の眼」を持っているのと同じく、「粘菌の眼」があるのかもしれない。

粘菌は、植物でいえば種子に相当する胞子から、アメーバ、接合体、変形体、子実体と、姿を変えていく。同定が難しいものもあるが、梅雨頃から秋にかけては、いろいろな種類の粘菌が森の中で活動しているらしい。

梅雨時の森は、しっとりと湿って思いのほか美しい。摩耶山では、アジサイも見頃を迎えている。山歩きには少々気が重い天気の日は、まやビューラインで登れる摩耶山で、じっくりとミクロの世界をのぞいてみると楽しいかも。ルーペをのぞけば、びっくりするような面白い世界が広がっている。

興味はあるけど見つける自信がない、という〝ねんきん生活〟予備軍には、今年も実施される観察会がお勧めだ。

片岡祥三さん（右）に教わりながら、熱心に粘菌を探す参加者ら

探索に先立ち、謎の多い粘菌の生態についてレクチャーを受ける

秋の観察会で見つかった粘菌の一種、キンチャケホコリ

摩耶の森クラブ粘菌観察会　7月16日10時半～12時、摩耶山掬星台の大きなあずまや集合。参加無料（要申し込み）。定員は先着30人。小雨決行。申し込みはウェブサイト（https://coubic.com/mayasan/247149）か、問い合わせはモンテ702☎078・882・3580

総合学部

◆あじさいの髪飾りを作ろう　７月16、17日10時半～12時、13時半～15時、神戸市立森林植物園（神鉄「北鈴蘭台」駅から無料送迎バス）。アジサイの生花を使った髪飾りを作る。クリップをベースにしているので、バッグや帽子に付けるコサージュ＝写真＝としても使える。１作品につき100円（別途入園料高校生以上300円、小・中学生150円）。当日受け付け、材料がなくなり次第終了。同園☎078・591・0253

環境学部

◆しょくぶつとむし　７月16日～９月25日（昆虫標本展示は８月14日まで）10～17時（受け付けは16時半まで）、六甲高山植物園（六甲ケーブル「六甲山上」駅から六甲山上バス「高山植物園」）。花に集まるハチやチョウ＝写真＝など、植物と虫の関わりに焦点を当てた企画展。園内にあるクイズに答えながら、植物とそこに暮らす虫を観察する。食虫植物や昆虫標本の展示もある。無料（別途入園料中学生以上700円、４歳～小学生350円）。同園☎078・891・1247

芸術学部

◆神戸の上水道施設の歴史と周辺環境を観て歩く　７月10日10時、神戸電鉄「鵯越」駅集合。烏原貯水池完成までの経緯に触れ、植物を観察しながらその周遊道を歩く。講師は六甲山自然案内人の会・会員。弁当、飲料水、雨具などを持参。参加費300円（保険料含む）。予約不要。荒天中止。六甲山自然案内人の会・松本さん☎090・1595・2397（19～21時）

◆六甲山光のアート「Lightscape in Rokko」スペシャルライティング「心象光景」　７月31日まで、19～21時（受け付けは20時半まで）、自然体感展望台・六甲枝垂れ（六甲ケーブル「六甲山上」駅から六甲山上バス「六甲ガーデンテラス」）。人それぞれの心模様を光に見立てて表現＝写真。1000万色以上の色彩表現ができるLED照明で、展望台全体を覆うフレーム

を自然光に近い光で内側から照らす。演出は照明デザイナーの伏見雅之さん。入場料中学生以上310円、４歳～小学生210円（ただし、７月15日～11月23日はイベント特別料金で大・小人一律500円）。六甲ガーデンテラス☎078・894・2281

催しの日程、内容などは変更される場合があります。お出かけ前に主催者にご確認ください。ホームページhttp://653daigaku.com/

詳しくは「六甲有馬ヒルクライムフェスタ2022 with Rethink PROJECT」で検索

Rethink PROJECTが六甲有馬ヒルクライムフェスタ2022を支援！

JTグループは、自然・社会・人間の多様性に価値を認め、責任ある地域コミュニティの一員として、「格差是正」、「災害分野」、「環境保全」の三つの領域を重点課題と位置づけ、様々な地域貢献活動に取り組んでいます。

国内では、地域貢献活動として「Rethink PROJECT（リシンク・プロジェクト）」を推進しています。本プロジェクトは、「視点を変えれば、世の中は変わる。」というコンセプトのもと、これまでにない視点や考え方を活かし、地域社会の課題に対して問題意識や解決の意志を持つ方々とパートナーシップを組み、共に考え、共に行動していく取り組みです。

今年は、このRethink PROJECTの一環として9月11日（日）に六甲山・有馬温泉を舞台に開催される「六甲有馬ヒルクライムフェスタ2022 with Rethink PROJECT」に冠企業として参加することとなりました。

本イベントは、六甲・有馬エリアの地元企業・行政・外郭団体が実行委員会として集結し「芦有ドライブウェイでのヒルクライムレース」と「有馬温泉街の地域活性化イベント」の２本の柱で地域活性化とサイクルツーリズムの発展を目的として、開催されます。イベントの開催による地域の賑わいづくりに併せて、CO_2を発生させない小型モビリティの普及促進により、SDGsに資する地域づくりを目指しております。

この趣旨に賛同し、イベントを盛り上げるために、Rethink PROJECTでは清掃活動『ひろえば街が好きになる運動』や『有馬温泉の魅力再発見ワークショップ（仮題）』などの企画を練っているところです。

みなさまも視点を変えて、六甲・有馬を楽しみませんか？みなさまのお越しをお待ちしております。

わたしたちは 六甲大学 の活動を応援しています　ひとのときを、想う。JT　Daiwa House　想いをかたちに 未来へつなぐ TAKENAKA　（順不同）

【実行委員会】六甲摩耶観光推進協議会／摩耶山観光文化協会／灘百選の会／神戸観光局／神戸新聞社　【事務局】神戸新聞地域創造内　e-mail:info-653@kobe-np.co.jp